

弟子屈高校 PTAだより

編集／北海道弟子屈高校PTA研修委員会



「みらいへ繋ぐ」

PTA会長 板垣 牧

今年度よりPTA会長を務めさせていただきました板垣牧と申します。いつもPTA活動への温かいご支援、誠にありがとうございます。

本校ではここ数年、高校の魅力化を図るため様々な取組みが行われております。昨年度は「地域みらい留学」の募集開始や地学協働コーディネーター二名の就任があり、その結果として「地域みらい留学」で道外から一名の入学者を迎えることができ、弟子屈中学校からの進学率もアップしました。また、北海道地学協働アワード2024でグランプリを受賞することもできました。これもひとえに生徒達と教職員のみなさんの頑張りの成果と感じております。また、弟子屈高校の魅力化のために、たくさんの方々に関わっていただいたことに感謝いたします。

さて、四月に行われた参観日において、探究活動の発表を参観させていただきましたが、どの生徒も堂々と発表しており、聞く側の質問も素晴らしく、しっかり一人ひとりに力が付いていると思えたひとコマでした。このように子供たちにはまだまだたくさん伸びしろがあり、私たち大人が子供たちを信じて応援することの大切さを改めて感じました。

本校は学校関係者のみならず地域全体の支えがあつてこそ学校です。弟子屈町にとつても重要な役割を担うこの学校を守り、持続するためには会員の皆様一人ひとりのご協力が不可欠です。少ない人数ですが、その分お互いの顔が見える絆の強いコミュニティにしていければ幸いです。お忙しいと存じますが、一年間よろしくお願いいたします。



「原点から、未来へ」
—母校とともに挑む—

校長 伊東 文人

あの日、ここで夢を語った。仲間と笑い、時に悔し涙を流した。その全てが今の私をつくっている。

弟子屈高校は、私の母校です。この町で育ち、この学校で多くを学び、そして今：校長として再び、ここに立っています。時代は変わりました。しかし、変わらないものがある。それは、人が人を想い、支え合いながら未来を拓いていくという姿です。今の弟子屈高校には、「挑戦」の風が吹いています。生徒たちは、自ら問いを立て、地域の中へ踏み出しています。正解のない世界に飛び込み、人と出会い、自分をつくっていく。それは、どんな教科書にも載っていない、かけがえのない学びです。先生たちも、歩みを止めません。教える者から、共に挑む者へ。教育の未来を信じ、変化に立ち向かう姿は、まさにプロフェッショナルです。

そしてこの町——弟子屈の人たちは、いつの時代も変わらず、温かいまなざしで高校生たちの挑戦を支えてくれています。すべての生徒に、「自分にはできる」と思える未来を。すべての地域の方に、「この学校があつてよかった」と思っていただけの日々を。

保護者の皆様、地域の皆様、今後とも本校の教育活動へのご支援とご協力をお願いいたします。

弟子屈高校から、未来を変える。その物語は、これからも続いていきます。

それぞれの想い

「これからの成長に期待して」

一学年保護者 河上 美樹

雪解けが進み、春の息吹を感じる中にもまだ肌寒い風が吹いていた今年の入学式。新しい制服に身を包んだ十六名の新入生は、期待や不安を感じながら入学式に臨んだことと思います。保護者としては、保育園や幼稚園からの仲間がほとんどで、「あどけなかつた子どもたちがこんなにも大きくなって」と、その成長した姿にとても感動しました。

高校生活にも慣れ、勉強に部活動にと忙しい毎日を送っている娘ですが、この文章を書いている今は、学校祭に向けての話し合いや準備の真ただ中です。娘の話を聞いてみると、私自身の高校時代を懐かしく思い出します。「お父さんやお母さんが高校生の時はこうだった」と、家庭での会話も弾む毎日です。十六名という少人数なので、準備には生徒一人ひとりが役割を果たす必要がありますが、今まで積極的に行動することが少なかった娘も、この学校祭を通して周りに任せるのではなく、主体的に行動できるようになってほしいと母としては願っています。少ない人数だからこそ、アイデアを絞り、仲間と共に精一杯取り組み、初めての学校祭が思い出に残るものになってくれたら嬉しいですね。まだ始まったばかりの高校生活ですが、あつという間の三年間。様々な経験を通して、さらに大きく成長してくれることを期待しています。

「成長してきたね」

二学年保護者 川井田 志保

高校に入学してから一年三ヶ月が過ぎました。月日が経つのはとても早いです。娘は最近やつと現実的な自分の進路について考え始めたようです。

一年生の時は大まかにしか決めていなかった進路。二年生になってから迷いもあるようですが、真剣に進路の事を考えるようになりました。テスト勉強等も一年生の時に比べると少しずつではありますが、学習時間が長くなり、進路を意識しながらやっているのかなと思うと「成長してきたね」と思います。進路を考える時、オープンキャンパスや授業で職業体験という実際に行つて話を聞いたものと一致したり、なんか違うなつて早めに気づける環境があり良い事だと思えます。家での娘も、母を上手に巻き込んで推し活を楽しんだり、プチ反抗期もありますが、これも成長の一つかなと母は嬉しく思います。これからいろいろな事に挑戦して大きく成長しながら楽しい学校生活を送つて欲しいです。

「弟子屈高校」と「栄養」

三学年保護者 金川 奈美子

上手くネクタイを結ぶことができなかったあの日からなにかやつとここまで来れた気がしています。弟子屈高校でみんなと過ごせるのもあと数ヶ月。



そんなに長い時間では無いと思いますが、ここからは進路で忙しくなっていく時もポジティブな気持ちで過ごせるとは限らないと少し心配にもなります。

そんな時こそ「私は恵まれていて」と考えてみて欲しいのです。少人数だからこそその学びが出来ること。町に無料の夢叶塾があること。弟子屈探究で町のたくさんの方と関わること。壮大な自然がネガティブを吸い取つてくれそうなこと。数え切れないほど浮かんでくるかもしれません。弟子屈高校だからこそ社会に出る前に大切な栄養をもらっているに違いありません。先生、同級生、下級生、町の人が近い距離にいる安心感。たくさんの方と関わつてもらった栄養を貯めていつか、弟子屈町を元気にしてほしいです。私にとりましてもラスト数ヶ月ですが努力が必要になります。どのように毎日のご飯で栄養を取らせるのか悩みます。苦手な事に挑戦したいと思います。

を作り上げるには、部員一人ひとりの意見や思いに耳を傾け、協力して練習に取り組むことが不可欠だと強く感じました。

少人数ゆえに音に厚みが出なかったり、コンクール出場を諦めかけたりと、悩むことも多くありました。少人数だからこそその温かい雰囲気が好きでしたし、部員一人ひとりの大きさに改めて気づかされました。この三年間で得た経験は、私たちの将来に良い影響を与えてくれると思っています。

活動を支え、多くの思い出をくださった全ての方々に心から感謝しています。本当にありがとうございます。これからも弟子屈高校吹奏楽部への応援をよろしくお願いします。

クッキング部

「貴重な体験」

三年A組 中原 実和

クッキング部での三年間は、私にとってかけがえない宝物となりました。少人数という環境だったからこそ、買い出しから調理まで皆で協力し、分担することの大切さや楽しさを肌で感じる事ができました。「人数が少ないからできない」のではなく、工夫次第でも実現できる気がしたので



す。他の部活動に比べて活動回数は少なく、大会などありませんでしたが、一つ一つの活動が私にとっての貴重な思い出です。仲間と協力し、共に努力した時間は、私の人生においてかけがえない財産となり、将来にきっと役立つ経験となるでしょう。顧問の先生、温かく支えてくれた後輩たち、そしていつも見守ってくださった地域の方々には感謝しかありません。本当にありがとうございます。クッキング部で得た経験は、私の大切な一部です!!

パソコン部

「パソコン部での三年間」

三年A組 藤井 悠絆斗

私が高校に入学した当初、部活に入るかどうか、まだ定まっていませんでした。しかし、対面式での先輩によるパソコン部の部活動紹介で私はパソコン部に入学しようと考えました。

実際にパソコン部に入学した時にはパソコン部の先輩は引退して、一緒に入部した友達もすぐにパソコン部を辞めてしまったため、パソコン部は私一人で活動していました。最初は戸惑いもありましたが、部の中で私一人という特別感があり、タイピングや検定取得に勤しむ事が出来ました。二年生の時に後輩が一人入部してくれ、三年生からは、学校のホームページのパソコン部の紹介を後輩と編集し、作成する事ができました。

パソコン部で特別な功績などを残せた訳ではありませんが、三年間で部長としての責任という貴重な体験をすることが出来ました。

令和7年度PTA活動予定

Table with 2 columns: 月日 (Date) and 項目 (Item). It lists various PTA activities from April to October, including general assemblies, sports events, and school festivals.

※印は期日未確定

PTA役員紹介

四月二十日(日)、PTA・文化体育後援会総会が弟子屈高校視聴覚教室で開かれ、令和7年度のPTA役員・文化体育後援会役員が次のように決定されました。なお、会則改定により、PTA会計、文化体育後援会副会長がそれぞれ一名削減となりました。

- PTA役員表: 会長 板垣 牧, 副会長 三上 哲, 副会長 和田 由紀, 副会長 伊東 文人, 副会長 早坂 隆広, 会計文休藤 藤井 育子, 監査文休藤 和田 麻里, 監査文休藤 和田 麻里, 文化体育後援会 会長 城川 輝洋, 副会長 二 A 陽菜.

五月二十三日(金)、弟子屈町公民館において、PTA・文化体育後援会の合同役員会・委員会が開かれ、各委員会の委員長・副委員長及び年間活動計画が次のように決定されました。なお、四月二十日(日)、PTA・文化体育後援会総会における会則改定により、生活委員会の廃止が決定され、今年度より研修委員会のみとなっています。

- 研修委員会: 委員長 金川奈美子, 副委員長 川井田志保, 理事 河上 美樹, 委員 三 A 眞千, 二 A 莉奈, 一 A 花嘉.

着任者



伊東 文人 校長

①保健体育科 ②校長
この度、4月1日付けで苫小牧南高等学校から着任いたしました伊東文人と申します。弟子屈高校は私の母校です。かつて生徒としてこの門をくぐった私が、今、校長として再びこの地に立てることに、深い感慨と、未来への大きな責任を感じています。
私たちは、弟子屈の雄大な自然の中で、困難に立ち向かう勇氣と他者への温かい心を育み、社会を逞しく生き抜く人材の育成を目指します。どうぞよろしくお願いいたします。



佐藤 恵 教諭

①理科 ②3学年付 ③進路指導主事
④バレーボール部
紋別高等養護学校より異動してきた佐藤恵です。担当教科は理科です。弟子屈町は自然豊かで本校はそのフィールドを存分に生かしながら探求活動を行っているところが魅力で、とても楽しみです。保護者、地域のみなさまに協力していただきながら、子どもたちの高校生活3年間がより良いものとなるように精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



今泉 偉人 教諭

①数学科 ②1A副担任 ③総務・生徒指導部
④バレーボール部、ボランティア担当
この度、中標津高等学校から異動して参りました今泉偉人です。担当教科は数学で、1年A組の副担任です。
新しい環境でのスタートに心躍らせつつ、地域や生徒の皆さんとの出会いを大切に、日々の教育活動に取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の方々ともコミュニケーションをとり、信頼関係を築いていければと思っております。皆様のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

教職員紹介

①教科 ②担任(役職) ③校務分掌 ④部活動



小栗 陽介

①工業科
②教頭



塩田 英樹

①地歴・公民科
②3A副担任
③総務・生徒指導部
④吹奏楽部、野球部



西尾 勉

①英語科
②2A副担任
③教務・進路指導部
④パソコン部、バドミントン部



岩本 真実

①家庭科
②1A担任
③総務・生徒指導部
④吹奏楽部、クッキング部



長谷川 雄一

①情報科、商業科
②2A担任
③教務・進路指導部
④バドミントン部



梅坪 和輝

①保健体育科
②1学年付
③生徒指導主事
④野球部、ソフトテニス部



寺本 一平

①英語科
②2学年付
③教務主任
④ソフトテニス部



浪岡 真菜

①国語科
②3A担任
③教務・進路指導部
④クッキング部、パソコン部



宮本 琴音

①養護教諭
②1学年付
③総務・生徒指導部
④ボランティア担当



早坂 隆広

②事務長
③総括・人事・財産・工事



米山 京吾

②事務職員
③支出・契約・福利・給与・物品



金澤 友子

②事務生
③収入・庶務・文書・旅費

編集後記

令和7年度第1号PTAだよりが発行できましたことをこの場を借りてお礼申し上げます。原稿を依頼してから短期間で入稿して頂きましたことに心から感謝いたします。紙面を通して、校内の様子や生徒の活躍の様子、PTA活動などをお伝えすることができれば幸いです。
今後の活動としては、研修委員会では保護者と先生方で共有できる研修を企画していきたいと考えております。皆様方の積極的な参加をお待ちしております。最後になりましたが、3月には第2号の発行を予定しておりますので、原稿依頼をお願いした際にはよろしくお願いいたします。今後ともPTA活動にご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

北海道弟子屈高等学校 PTA研修委員会